

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年1月27日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2026年1月15日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	中国
留学先大学	中央財經大学(日本語名) 中央财经大学(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	中国語/英語
留学期間	2025年9月～2026年1月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 3月上旬～6月下旬 2 学期: 9月上旬～1月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	10101人
創立年	1949年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (4.5) (1 現地通貨 = 100 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学ため、授業料 0 円
宿舍費	9600	212108 円	
食費	4500	99426 円	
図書費	0	0 円	ppt 使う
学用品費	450	10000 円	
携帯・インターネット費	240	5303 円	
現地交通費	0	0 円	キャンパス内住んでいる( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	450	10000 円	
旅費(留学中)	5000	120000 円	
被服費	0	0 円	
医療費	1000	20000 円	
保険費	2000	50000 円	形態: 海外保険
渡航旅費	2000	50000 円	
ビザ申請費	0	0 円	
雑費	0	0 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	25240 (=557667 円)	576837 円	
総計(A+B) ※円		1134504 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

## 渡航関連

渡航経路
往路 出発地：東京      目的地：北京      経由地： 復路 出発地：北京      目的地：東京      経由地：
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：東方航空 料金：50000 円  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：                      料金： 復路 航空会社：                      料金：                                      ∴合計：
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：携程                      ) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名：                      ) <input type="checkbox"/> その他(                      )
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前： 专家楼                      ) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数                      )
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン( <input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可 )
4) 住居を探した方法：
学校によるアレンジ
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
実際はツインルームですが、明治大学の交換留学生であるため特別に配慮され、一人でツインルームに入ることができました。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 北京大学付属病院 )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

中国の社会環境は比較的安定していて安全なので、こうした問題について考えたことはありません

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の中でも外でも、携帯電話のネットワークの電波はとても良いですが、VPNを使う必要があります。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

私は中国人なので、銀行に行って銀行カードを作る必要はありません。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

肉類と種子類の食品です。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
4 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 4 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
会計学基礎		会計学基礎
科目設置学部・研究科	会計学院	
履修期間	一学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	刘红霞	
授業内容	会計等式や会計科目など、会計学の基礎的な内容の学習について。	
試験・課題等	期末試験あり	
感想を自由記入	会計学はやはり難しいと感じています。特に、会計科目と会計等式の内容は理解しにくかったです。それでも、期末試験では 82 点を取り、クラスで 2 位でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
中日文化比较	中日文化比較
科目設置学部・研究科	金融学院
履修期間	一学期
単位数	2
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	李友敏
授業内容	This course compares the languages, customs, and cultural phenomena of China and Japan. Through examining idioms, proverbs, loanwords, and social practices (e.g., aesthetics, naming traditions, etiquette, and dietary culture), students explore the underlying cultural connections and differences between the two countries. The course aims to enhance cross-cultural understanding and analytical skills.
試験・課題等	レポート
感想を自由記入	中国の視点から中日文化の違いを捉えることと、日本の視点から捉えることの間には、明確な違いがあります。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

大学ホームページ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)  
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。  
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。  
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

まだ決まってない

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

大学院入試を受ける必要があったため、日本からなるべく近い国を交換留学先として選びました。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	TOEFL 準備
	4月～7月	出願
	8月～9月	勉強
	10月～12月	勉強
留学開始年	1月～3月	選考
	4月～7月	航空券購入
	8月～9月	出発
	10月～12月	中間テスト
留学/帰国年	1月～3月	期末試験
	4月～7月	大学院進学
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は明治大学国際日本学部にて在籍し、中国・中央財経大学にて一学期間交換留学しました。大学院進学を目指していたため、日本から距離が近く、時差や気候の負担が少ない中国を選んだことが一つの理由です。また、中央財経大学は経済・金融分野に強く、急速に発展する中国経済を現場で学べる点にも大きな魅力を感じました。

中国出身ですが、日本で数年間学んだうえで、あらためて中国の社会を「留学生の目」で見直すことができたのは貴重な経験でした。同じ出来事でも、中国人としての感覚と、日本で身につけた価値観とでは受け止め方が違います。そのギャップを自分の中で整理することで、中日文化の違いをより客観的に理解できるようになりました。

生活面では、中国の社会環境は想像以上に安定していて安全だと感じました。寮の中でも街中でもスマートフォンの通信環境は非常に良く、キャッシュレス決済がほぼどこでも使えます。一方で、日本のサービスに慣れている留学生にとっては、VPNの準備やアプリの設定など、最初に越えるべき小さなハードルもあります。これから中国に留学する人には、出発前に必ずVPN、現地の決済アプリ、翻訳アプリを一通り試しておくことを勧めます。

学習面では、会計学や経済学など専門科目を中国語で受けるのは簡単ではありません。特に会計等式や会計科目の区別など、概念そのものが難しい内容も多く、最初は授業のスピードについていけないこともありました。しかし、授業後に教科書と日本語の参考書を照らし合わせて復習し、わからないところは友人や先生に積極的に質問することで、最終的には期末試験で良い成績を取ることができました。言語の壁を言い訳にせず、「日本で学んだ基礎＋現地の授業」で二重に理解する姿勢が大切だと思います。

文化面では、人間関係のつくり方やクラスの雰囲気にも違いがあります。中国の学生はグループで動くことが多く、友人同士で勉強や就職活動の情報を積極的に共有します。一方、日本の大学で重視される「他人の時間を邪魔しない配慮」も私にとって大切な価値観です。二つの文化の間で迷うこともありますが、どちらか一方を否定するのではなく、「場面によって使い分ける力」を身につけることが、これからの国際社会で生きるうえで大きな強みになると感じました。

これから留学を志す皆さんには、単に語学力を伸ばすだけでなく、「自国を外から見る視点」を意識してほしいと思います。日本人の留学生なら、日本で当たり前だと思っていた制度や価値観を、留学先の社会と比べて問い直すチャンスになります。逆に、私のような中国人学生にとっては、日本で学んだうえで中国に戻ることで、二つの社会を橋渡りする役割を意識するようになりました。

最後に、留学生生活を楽しむコツは、完璧を目指しすぎないことだと思います。言葉が伝わらなくても、自分の考えを伝えようとする姿勢があれば、現地の学生は必ず助けてくれます。わからないことや失敗を恐れず、一つ一つの経験を将来の研究やキャリアにつなげていってください。留学は不安もありますが、その分だけ、自分の世界を大きく広げられる貴重なチャンスです。